

やすらぎだより

やすらぎ福祉会の理念

利用者の基本的人権の尊重を何よりも大切にします。
法人及びその事業の民主的運営を重視します。
地域に開かれた特別養護老人ホームをめざします。
利用者の福祉と医療の連携を重視します。
高齢者の社会保障の充実・向上をめざします。

社会福祉法人やすらぎ福祉会 〒921-8065 金沢市上荒屋1-39 TEL 076-269-0808



やすらぎホームでのアニマルセラピーの様子

ワンちゃんたちとの触れ合いの中で、素敵な笑顔が溢れていました!

はじめまして。山下明美と申します。

一九七八年に富山から金沢へきて、城北病院で看護師として働き、はや三十数年。縁あってやすらぎホームで施設長をすることとなりました。

入居者さんも、ご家族も、職員も、一人ひとりが輝いて毎日が過ごせるよう、頑張っていきたいと思えます。介護の現場は、グループホームでの一・五年の経験しかなく、社会福祉法人は初めてです。多くの地域、職域の方々の力と思いが込められて作られ発展してきたやすらぎホームで仕事ができることを本当に誇りに思います。

一からの出発です。ご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



やすらぎホーム
新施設長
山下 明美

施設長就任
のご挨拶

おしのハウス 5周年記念バザーを開催!!

6月6日(日)おしのハウス5周年を記念するバザーを行いました。お天気がとても心配でしたが、天候に恵まれバザー日和に。早朝のテント張りでは利用者さんのご家族や町会長さんが手伝って下さったり、室内ではボランティアさんが和気あいあいとおはぎ作りをして下さいました。大正琴の演奏で幕開けし、その後バザーや食券の購入には長い行列が。中でも洗剤、野菜、花の苗が好評。おはぎ、大判焼き、おでん、フランクフルトなど食べ物



も盛り沢山。また、今回は近くのわいわい市場さんにも出店して頂き、賑やかさが増しました。そして忘れてならないのが、協力して下さった方、町会長さんはじめ、ご利用者・ご家族、友の会、職員、本当に多くの方々の協力で無事行うことができ本当に感謝の気持ちでいっぱいでした。

これからも地域に根ざしたおしのハウスになるよう、職員一同頑張ります。



初めての不在者投票が実現しました!! なんぶやすらぎホーム



←5月に入居者の方々と一緒に、県の選挙管理委員会と交渉。その後の委員会で不在者投票所の基準が緩和された。

【不在者投票所の設置基準】
入居者50人以上 ⇒ 20人以上に改正
 (なんぶは40床。今までは不在者投票所として認められていませんでした。)

7月8日、基準緩和後、なんぶやすらぎホームで初めての不在者投票を実施。当日の朝、お年寄りから「車で行くんやね?」と心配そうにきかれ、「ここ(なんぶ)でできるよ」と答え、「ここでできるなら、それは嬉しい!」と大喜び。3月の県知事選挙では、10名が投票されましたが、今回はその倍近い17名が投票できました。これも、いつもの生活の場所で投票ができるようになったからです。

「下(投票場所の会議室)まで行くだけでいいなら楽やわ」Kさんは満面の笑みで投票所へ。「Kさんの顔、本当に、にっこにこやったね!」と職員も嬉しそうに語ります。

取材にきた毎日新聞の若い記者も、取材後「投票できて肩の荷がおりた、投票できてほっとしたという声をきいて、1票の重みの大切さを感じた。」「今日取材をして、お年寄りの姿・声で感動した。私も、選挙に行かないといけなくて教わった。普段の生活の場所で、顔なじみの中で、安心して投票できて良かったと、自分自身も思った。」記者自身が、感動して帰っていきました。

会の存在と活動をもっと宣伝していく必要がある!

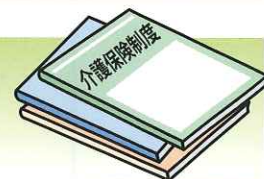


待機者家族会第9回総会が、6月6日に野々市町交遊舎において開催され21名が参加された。一部では、『介護保険制度10年目の検証』の映像が流され、「10年目の現状がとてもわかりやすい映像になっていた」との参加者の感想も出された。また、二部では、活動方針等が提案され、「地域の方は、介護保険について知らない。会として宣伝をもっとすると良い」「自分の地域にも認知症の方がいる。町会の総会でも、町会費をもらえないし除雪にも困っている。どうしたものかとの意見が出されている。」「在宅で両親の介護をしている。療養病床全廃を決定したこ

とにかかわった官僚の『十分な討議もなく決め、あの時の判断は間違っていた...』という発言を聞き、やりきれない。」など活発な討議がされた。

また、石川県(2月議会)や金沢市(3月議会)で採択された介護保険制度の抜本的改善を求める意見書は、会や介護関係者・団体がこの間繰り返し要望してきた内容であり、会の活動に大いに確信を持てる成果であることも確認。今年も、介護懇談会・行政交渉を重視し、宣伝活動にも力を入れていくことを確認し合った。

介護保険制度の課題を学習しました



6月20日に、やすらぎホーム家族会の総会が開かれました。会長あいさつのあと、新施設長の紹介があり、『介護保険制度10年目の検証』と称したビデオを視聴しました。09年度は26名の退去者がおられ、その内18名の方が亡くなりました。

10年度も引き続きボランティア・職員との『共同のケア』をより一層すすめるとともに、介護保険制度を改善するための活動に取り組むことが確認されました。



17年間お疲れ様でした♪



開設当初から送迎やお出かけに使われてきた大型の福祉輸送バスが、17年という長い役目を終えました。デイサービスの利用者さん、職員がバスの前で記念撮影を行い別れを惜しみました。名残惜しそうに、バスをぐるっと1周する方もいらっしゃいました。

長い間本当にお疲れ様でした!!

故障した空調設備を更新しました

夏本番を間近に控え、やすらぎホームの空調設備を更新し冷房を稼働させました。開設以来の設備が老朽化したことをうけて、これまで灯油で動かしていたものを電気で稼働する設備に切り替えました。

電気代はこれまでよりかかりますが、灯油代の減少、夏冬の運転切替が不要となりコスト削減となります。またCO₂削減となり、環境対策にもなります。工事の間は、入居者の方々やご家族には大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。



2009年度 会計報告

貸借対照表

2010.3.31 単位：円

資産の部		負債の部	
流動資産	594,394,281	流動負債	55,592,444
固定資産	2,056,793,499	固定負債	155,414,000
基本財産	1,936,562,233		
その他の固定資産	120,231,266		
		負債の部合計	211,006,444
		純資産の部	
		資本金	871,436,912
		国庫補助金等特別積立金	447,666,670
		その他の積立金	13,306,000
		次期繰越活動収支差額	1,107,771,754
		純資産の部合計	2,440,181,336
資産の部合		負債及び純資産の部合計	2,651,187,780

事業活動収支計算書 (2009年4月1日～2010年3月31日) (単位：円)

事業活動	事業活動収入計 (1)	1,039,741,645
	事業活動支出計 (2)	1,008,122,221
	事業活動収支差額 (3)=(1)-(2)	31,619,424
事業活動外	事業活動外収入計 (4)	74,161,047
	事業活動外支出計 (5)	73,767,180
	事業活動外収支差額 (6)=(4)-(5)	393,867
経常	経常収支差額 (7)=(3)+(6)	32,013,291
特別	特別収入計 (8)	0
収支	特別支出計 (9)	3,264
	特別収支差額 (10)=(8)-(9)	-3,264
	当期活動収支差額 (11)=(7)+(10)	32,010,027
繰越	前期繰越活動収支差額 (12)	1,075,761,727
活動	当期末繰越活動収支差額 (13)=(11)+(12)	1,107,771,754
収支	基本金取崩 (14)	0
差額	基本金組入額 (15)	0
の部	その他の積立金取崩額 (16)	0
	その他の積立金積立額 (17)	0
	次期繰越活動収支差額 (18)=(13)+(14)-(15)+(16)-(17)	1,107,771,754

毎年恒例
平和納涼盆踊り

8月28日(土)
18時より

やすらぎの里まつり

10月17日(日)
10時より

ステージ・模擬店・バザー・作品展示